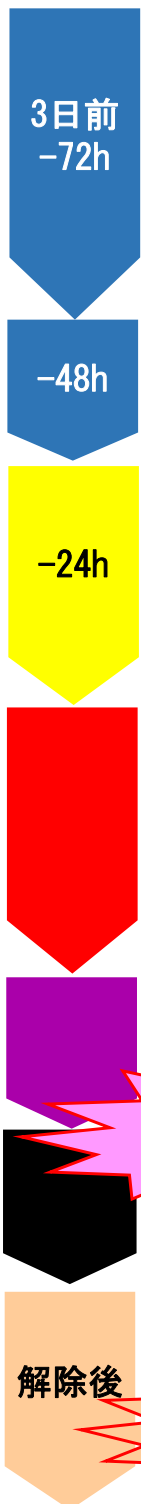


ため池タイムライン (大安寺新池)

気象情報
時間軸



事象・気象情報		水位情報		各務原市			ため池栓 操作者	周知すべき 住民の行動	参考 気象情報 洪水キキクル (洪水警報危険 度分布)	ため池諸元	
事象	気象情報 土砂キキクル (大雨警報(土 砂災害)危険度 分布)			農政課	防災対策課	河川公園課				ため池諸元	関係者連絡先
大雨の可能性がある	前線移動による豪雨予測			ため池の貯水位確認 協力機関の体制確認			ため池の貯水位等確認 重大な異常の発見	○浸水想定区域図及び避難経路等確認	【警戒レベル2相当】 大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報 キキクル危険度「注意」	大安寺新池 貯水量 145,000m3 堤高 11.1m 洪水吐形式 水路流入型 改修歴 昭和46年度	
大雨の可能性が高くなる				重大な異常の把握	情報共有 異常による緊急安全確保			○緊急避難行動		関係者連絡先 鵜沼水利組合長	
ため池損壊に及ぶ大雨の恐れがある				作業報告を受ける						関係自治会 山崎第1自治会 南町第4自治会 南町第3自治会 西町南自治会 南町第2自治会 東町第3自治会 羽場町5丁目自治会 南町第1自治会 東町第5自治会 古市場川東自治会 西町中自治会 インプレス自治会 西町東自治会 東町第1自治会 コンフォート自治会	
大雨が始まる、降雨の強さが増す				ため池の貯水位確認 土砂キキクル等気象情報を注意深く確認		低水位管理協定により、ため池栓による事前放流 満水位-130cm 第1栓開放	ため池の貯水位等確認	○インターネット等による大雨、河川の状況確認(土砂、洪水キキクル) ※必要に応じて避難準備			
ため池の重大な損壊に繋がる豪雨の恐れがある	【警戒レベル2相当】 大雨注意報 キキクル危険度「注意」			水位予測の確認	情報共有 大雨警報発令の可能性が高く、かつ、洪水吐が避難判断水位(警戒レベル3相当)に達する見込みとなった場合、 避難場所の開設準備		※警戒レベルが高い時は待機<ため池に近づかない>	○避難準備			
ため池上流等、土砂災害発生の危険度高まる	【警戒レベル3相当】 大雨警報(土砂災害) キキクル危険度「警戒」	1/10水位超過 洪水吐底 + 26cm		水位予測の確認 下流河川への注意情報伝達	情報共有 大雨警報発令の可能性が高く、かつ、洪水吐が避難判断水位(警戒レベル3相当)に達した場合、 高齢者等避難発令			○高齢者等避難行動(LV3)	【警戒レベル3相当】 大雨警報(浸水害) 洪水警報 氾濫警戒情報 キキクル危険度「警戒」		
	【警戒レベル4相当】 土砂災害警戒情報 キキクル危険度「危険」	1/2水位超過 洪水吐底 + 1.3m		水位予測の確認 下流河川への警戒情報伝達	情報共有 洪水吐が危険水位(警戒レベル4相当)に達した場合、 避難指示発令	下流河川への注意情報対応			○避難行動(LV4) 土砂災害・洪水ハザードマップと同時にため池ハザードマップの情報にも留意	【警戒レベル4相当】 氾濫危険情報 キキクル危険度「危険」	
	【警戒レベル5相当】 大雨特別警報(土砂災害) キキクル危険度「災害切迫」	堤頂水位超過 洪水吐底 + 2.6m		大雨特別警報解除後、緊急点検を実施・報告 重大な異常の発見	情報共有 異常による緊急安全確保	下流河川への警戒情報対応			○緊急安全確保	【警戒レベル5相当】 大雨特別警報(浸水害) 氾濫発生情報 キキクル危険度「災害切迫」	
ため池に係る重大な災害が起こる恐れが著しく大きく非常に危険な状態にある(数十年に一度の豪雨が予想される)				緊急放流、補修による応急復旧対策 その後、緊急補修対策				○緊急避難行動		各務原市 農政課 058-383-1111	
ため池被災の危険性増大								避難行動は日中での実施が原則!		防災行政無線、各務原市「情報メール」	
ため池損壊等異常発見										○防災行政無線 風水害・土砂災害時等の避難指示など緊急の情報をお知らせします。 ○各務原市「情報メール」 防災情報を含めた暮らしに役立つ情報を携帯電話などに「メール配信」します。	
										ため池の役割	
										本ため池に貯留された水は、下流にて農業用水として利用されています。 また、ため池は降雨時に雨水を一時的にためる洪水調整や土砂流出の防止などの役割を持っています。	

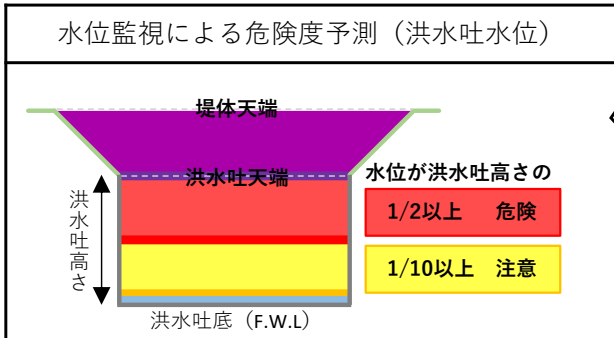
事前の備え・情報収集

気象庁
気象庁ホームページ

各務原市「情報メール」
登録はこちら →

または、t-kakamigahara@sg-p.jp
まで空メールを送信

キキクルはここを押す



洪水吐とは?

満水位以上の水が流入する時に、堤体を越えて水があふれないよう自然に水を放流する施設です。

○洪水吐の設計基準
・200年に1度の規模の降雨でも安全に放流可能
・流木等で閉塞しない大きさ

地震発生時の対応

○震度5弱以上の地震発生後(堤高15m以上のため池は震度4以上)
・ため池管理アプリにて緊急点検を実施・報告

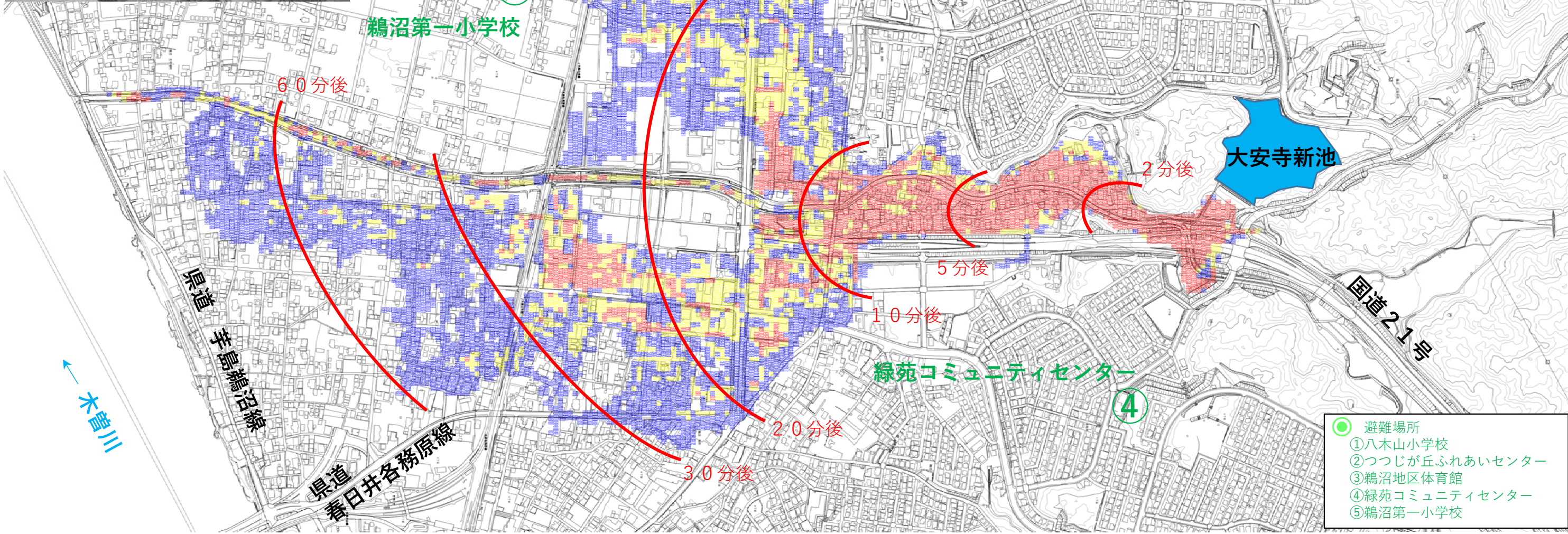
○堤体の沈下、クラック、漏水等の異常を発見した場合
・市町村へ異常を報告、下流住民の避難を実施
・緊急放流、補修等を実施

浸水想定区域図 (大安寺新池)

ため池諸元	
大安寺新池	貯水量 145千m ³ 堤高 11.1m 洪水吐形式 水路流入型 改修歴 昭和46年度



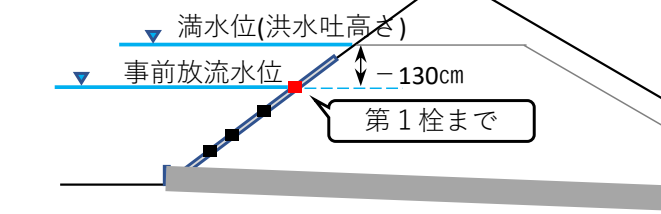
大安寺新池は適切な管理がされており、決壊の可能性は非常に低いですが、堤体決壊時の影響範囲を示したものがこの浸水想定区域図です。
貯留水が一気に流れ出す最も危険な場合を想定し作成されています。
池の下流にある住宅地においては、水深が1.5mを超える可能性があります。
浸水想定区域図を参考に非常時の避難方法を確認しましょう。



- 避難場所
- ①八木山小学校
- ②つつじが丘ふれあいセンター
- ③鶉沼地区体育館
- ④緑苑コミュニティセンター
- ⑤鶉沼第一小学校

ため池管理水位

大雨・台風予報時(かんがい期(6月~3月))



農閑期には、低水位管理を行うことで地震による決壊被害を小さくできます。
大雨や台風通過が予測される際には、事前に水位を下げておくことで越水や決壊のリスクを小さくできます。

ため池 管理状況
・草刈り： 草刈り時に堤体及び施設の点検（ため池管理アプリや点検チェックシートによる）
・管理水位：左記による
・管理手法について ため池管理マニュアル⇒



ため池 上流域について
上流域は、土砂災害特別警戒区域に指定されているため、注意が必要です。 また、浸水想定区域の一部においても、土砂災害特別警戒区域と重なっているエリアがあるため注意が必要です。

歩行困難度判定	水が浸かる深さ	
	浅い	深い
遅い ↑ 水が流れる速さ ↓ 速い	0.5m/s	可能
	1.0m/s	困難
		危険